

コード No.21-S-011

提出日：令和4年4月2日

令和3年度「バングラデシュ学校（幼・小・中）のコロナ緊急対策 と日本でのPR活動プロジェクト」報告書

NPO 法人 YOU&ME ファミリー 玉木由美

1. プログラムの目的

バングラデシュではコロナ感染が始まった2020年3月より全国封鎖が開始され、封鎖と解除が繰り返されている。また政府要請により、全国的に学校休校と再開が続いている。

この長期休校により校舎の劣化と汚染が激しいため、早急に校舎の消毒とペンキ塗装作業を行い、気持ちよく清潔に学校を保持し、生徒の安全や健康を守り、学習意欲を喚起したい。

また、今だにコロナ禍にあり感染可能性もあるため、早急な感染対策徹底と生徒への衛生指導も必要である。そこで、感染対策用具等を購入し、感染対策を徹底したい。また安全に集団生活をするよう全校朝礼やクラス指導、個別対応等で生徒に呼びかけ、共通理解を徹底したい。

さらに日本でのPR活動プロジェクトも企画立案していたが、国内活動については助成されなかったため、ここでは割愛する。

2. 主な活動内容・スケジュール

2021年10月

学校消毒塗装作業準備、コロナ感染対策衛生指導準備

2021年11月

学校消毒塗装作業開始、コロナ感染衛生指導開始

2021年12月

学校消毒塗装作業継続、コロナ感染衛生指導継続

2022年1月

学校消毒塗装作業完了、コロナ感染衛生指導継続

2022年2月

コロナ感染衛生指導継続

2022年3月

コロナ感染衛生指導完了

3. 助成を受けた活動の報告（様子がわかる写真等があれば貼付してください）

コロナ禍のため長期休校が続いていたため、校舎の劣化や汚染があったが、本事業により校舎の消毒塗装作業を行うことができた。

また、感染対策徹底と生徒への衛生指導も早急に必要であったが、感染対策用具等を購入し、感染対策を徹底した。



体温計



消毒液



手指消毒液



石鹸

4. 活動の成果（成果物などがありましたらご紹介ください）

この校舎消毒塗装作業により、気持ちよく清潔に学校を保持し、生徒の安全や健康を守り、学習意欲を喚起できた。

また感染対策用具の購入により、感染対策を徹底できた。全校朝礼やクラス指導、個別対応等で生徒に呼びかけ、共通理解ができた。



消毒塗装前の校舎



消毒塗装後の校舎



手洗い指導



授業の様子



検温



集団指導

・YOU&ME 通信 No.29 で本プロジェクト紹介（別紙）

5. 今後の課題

この校舎消毒塗装を終え、清潔で綺麗な学習環境が整えられたことを感謝する。この衛生的な環境を保持していきたい。また今後、生徒たちはますます意欲的に学習に取り組めるだろう。本校生徒は全国試験でも優秀な成績を修めているが、さらに良い試験結果が望まれる。今回の事業から、さらなる教育成果を高めたい。

さらに今後、今回実施した感染対策や衛生指導を継続したい。ここから生徒たちの衛生に対する意識を変え、清潔で衛生的な学校生活、さらには家庭生活を送らせるようにしたい。将来、生徒達が大人になり家庭を持った際にも、今回の感染対策や衛生指導から得た知識が活かされるように、継続して指導していきたい。貴財団からのコロナ感染緊急助成プロジェクトに心から感謝する。

Study, Help, Respect One Another

教育こそが、 未来をつくる



NO. 29

MAR. 20, 2022



「私たちのすることは、大河の一滴にすぎない。
でも何もしなければ、その一滴も生まれません。」
マザーテレサ



皆さま、こんにちは。バングラデシュYOU&MEインターナショナルスクールの子どもたちへの日頃のご支援を心から感謝申し上げます。またNPO法人YOU&MEファミリーの活動へのご協力、ありがとうございます。

日本でも、新型コロナウイルスはいまだに混沌とした中にありますが、バングラデシュも同様です。断続的なロックダウンは経済打撃が大きく、特に日雇い労働者など貧困層を直撃し、経済格差が広がっています。また、2020年3月に政府から全国学校休校の通達が出て以来、休校は長期化しました。ようやく2021年9月に学校再開の許可が出て、少しずつ学校も平常を取り戻しています。この休校期間中に、政府からのテレビ授業や学校ごとのオンライン授業などもありましたが、自宅にテレビのない家庭は視聴もできず、またオンラインに接続できない家庭は参加もできません。そのように子どもたちの間でも、教育格差が生じています。このように新型コロナウイルスは、バングラデシュでも経済においても教育においても格差を広げてしまっています。特に弱者が犠牲になってしまっています。

尊敬するマザーテレサが、このような名言を残しています。「私たちのすることは、大河の一滴にすぎない。でも何もしなければ、その一滴も生まれません。この一滴なしに、大海は成り立たないのです。」YOU&MEファミリーの活動は小さく、できることも限られているでしょう。でも、小さなことでも無理せず歩みを止めずに続ければ、きっと大きなことにつながるでしょう。どうぞ引き続き、皆さまのお力をお貸しください。

NPO法人YOU&MEファミリー 代表理事 玉木由美



FROM BANGLADESH

2022年 新年度が始まりました



バングラデシュの学校は1月に新年度が始まります。毎年1月1日に政府から教科書が配布されますが、YOU&MEでも生徒たちは気のひきしめる思いで教科書を受け取りました。さあ、今年も充実した学習や学校生活になりますように。ガンバレ、バングラデシュの生徒たち、地球の子どもたち！

洋裁プロジェクト



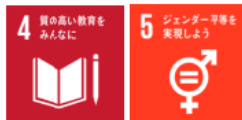
JICA基金 ニュースレターに掲載されました



バングラデシュにおける女子生徒の経済的および社会的自立を目的とした洋裁クラブ活性化プロジェクト

対象国: バングラデシュ

団体名: NPO法人 YOU&MEファミリー



活動報告

バングラデシュ ガジプールにあるYOU&MEインターナショナルスクールは、すべての子どもが自分らしく生きられるように、クラブ活動などの日本の教育ノウハウを取り入れた学校であり、YOU&MEファミリーはこの学校を支援するNPO法人です。

今回のJICA基金活用事業では、このクラブ活動のうち洋裁クラブを活性化し、女子生徒の雇用機会の拡大と経済的・社会的自立を目指して女子生徒に縫製技術を取得させる活動を実施しました。具体的には、洋裁特別講師の招致と校内担当教師の育成、両者による生徒訓練指導、作品づくりと発表などを行いました。

縫製工場の多いこの地域にて、将来彼らの就職の可能性が増えリーダークラスで雇用されることを期待します。

ご寄附いただいた皆様へのメッセージ

近年バングラデシュは格差が広がり、貧困地域ではまだ女子の児童婚も多い現状です。その中で女子の自立を目指したこのプロジェクトに対し、生徒も担当教員もとても意欲的に取り組み、おかげさまで大きな成果がありました。洋裁特別講師の指導のもと、校内担当教師も電動ミシンをマスターし生徒に指導できるようになったことで、将来は校内担当教師のみで指導が可能になるでしょう。また将来的には完成した作品を近隣商店で販売し、次の材料費等に充てることが見込まれ、持続可能な活動になるでしょう。

バングラデシュでは現在縫製業が盛んになっており、貧困層女子でも技術を取得することで自立の道が開かれます。どうぞこれからも温かく見守ってくださると幸いです。

自立に向けて縫製技術取得に取り組む女子生徒たち



2021年9月に終了したJICA基金活用事業（洋裁プロジェクト）ですが、このほど発行された「JICA基金ニュースレター」に、YOU&MEファミリーの洋裁クラブ活性化プロジェクト報告が掲載されました。この洋裁プロジェクトは、現在ゆうちょ財団からの助成に引き継がれ、継続中です。

JICAホームページから、ご覧ください！



(世界の人びとのためのJICA基金 ニュースレター2021 P7 より)



YOU&MEファミリーのインスタグラムでは、現地スタッフやスタディツアー参加者などが撮影した写真を掲載しています。子どもたちの学校でのほじける笑顔だけでなく、町の様子なども紹介しています。ぜひ、フォローしてくださいね！



技術を身につけ、夢にむかって

パソコンプロジェクト

パソコンプロジェクトも、今井基金助成より引き継がれ、現在ゆうちょ財団様より助成をいただき継続中です。たくさんの生徒が希望をもって学んでいます。



~パソコンプロジェクト 6~10年生 受講生徒の感想より~

・この学校はクラブ活動があり、文化面で活発なので好きです。将来は安定した職業に就きたいと考え、銀行に勤務したいと思っています。銀行で働くにはパソコン技術は必要だし、世の中でパソコン技術は必要です。でも自宅にパソコンがないし、教えてくれる人もいなかったなので、この講座を受講することができて嬉しいです。この講座を生かして、将来の夢を実現したいです。(ファヒム君)

・この学校の先生達はとても熱心に教えてくれるので、学校は大好きで、勉強も好きです。将来は事務職を希望しています。パソコンは以前から習ってみたかったけれど、自宅にパソコンはないので触れる機会もなかったです。この講座でがんばろうと思っています。(カリロさん)

・将来はまだわかりません。どんなこともがんばろうと思っていますが、パソコンもそのひとつです。家族も応援してくれているので、がんばりたいです。初めてパソコンに触れています。とても楽しいです。今はワードを覚えているところですが、難しいけれど、楽しいです。(ネハさん)



・1年生からこの学校に通っています。今までもこの学校で、クラブ活動や図書委員会活動など、いろいろなことに挑戦してきましたが、まさかパソコン技術まで挑戦できるとは思ってなくびっくりしましたが、チャレンジできてとても嬉しいです。自宅にはパソコンはないので触れるのは今回が初めてでした。ワード、エクセルとも意外に簡単で、とても楽しかったです。将来は公務員になりたいですが、そのためにもパソコン技術は必要だと思うので、学べてよかったです。(ラジュ君)

・自分は工場勤務で毎日大変な労働をしているが、子どもには少しでもいい条件の仕事についてもらいたいと思っている。だから学校は大事だし、勉強を一生懸命してもらいたい。パソコンも学んでもらいたいとずっと思っていたが、自宅にはパソコンはないので無理だと思っていた。このパソコン教室の開講をととても喜んでいる。もし機会があれば自分も習ってみたい。大人のクラスも開いてほしい。(ファヒム君父親)

コロナ対策プロジェクト

安心して学ぶために



コロナのため長期休校による校舎劣化のための塗装消毒修繕作業、また集団生活を感染から守るための感染予防対策事業です。

コロナ緊急対策プロジェクトは庭野平和財団より助成をいただき、2021年11月より2022年3月まで実施されます。

子どもたちが安心して学べる場を提供するため、プロジェクト進行中です。庭野平和財団様、ご支援いただいた皆様、心より感謝申し上げます。

児童婚とは・・・

18歳未満での結婚。女の子が児童婚の対象となるケースが圧倒的に多い。子どもの権利の侵害であり、子どもの成長発達に悪い影響を与える。女の子は妊娠・出産による妊産婦死亡リスクが高まるほか、暴力、虐待、搾取の被害も受けやすい。学校を中途退学するリスクも高まる。世界では、約7億5,000万人の女性と女の子が18歳未満で結婚しており、そのうち3人にひとり以上（約2億5,000万人）が15歳未満で結婚している。児童婚を経験した女性と女の子の42%が南アジア、26%が東アジアと太平洋地域、17%がアフリカで暮らしている。児童婚の多い南アジアの中でも、特に Bangladesh では根強い問題である。Bangladesh 政府は児童婚の廃絶を宣言しており法律でも女性の婚姻最低年齢を18歳以上と定めているが、現実の状況は改善していない。

(UNICEFホームページより)

私たちは、このような社会的課題に対し自分たちのできることは何かを考え、YOU&MEインターナショナルスクールのクラブ活動のうち、職業訓練に直結する洋裁クラブとパソコンクラブの活性化プロジェクトを実施しています。彼らの将来が自立したものになることを願っています。



ゆうちょ財団助成の活動発表講演を行いました

今年度プロジェクトの助成をいただいている、ゆうちょ財団HP上にて、活動発表講演をいたしました。今年度はゆうちょ財団から10団体が助成を受けているそうですが、そのうちYOU&MEファミリーが代表に選出され、発表講演をすることになりました。コロナ禍のため残念ながらHP上でのみの発表講演でしたが、YOU&MEファミリー活動全般の紹介、本プロジェクトの経過報告などをお話させていただきます。ゆうちょ財団HPから、ぜひご覧ください。



ゆうちょ財団助成は2022年度も採択していただき、「学校（中等教育）での貧困層生徒を対象とした職業訓練指導の持続可能な運営を目指して」として、続けてプロジェクトを進めてまいります。

ゆうちょ財団2021年度NGO海外援助活動助成
「学校（幼・小・中）における、
貧困層生徒の自立を目指したクラブ活動活性化と
学校衛生環境の改善」

～バングラデシュでの取り組み～



洋服クラブ活性化プロジェクト



パソコンクラブ活性化プロジェクト



トイレ衛生環境改善

NPO法人YOU&MEファミリー代表理事 玉木由美

グローバルフェスタ



オンライン参加しました

2021年10月9-10日に開催されたグローバルフェスタJAPAN2021が開催されました。YOU&MEファミリーはオンラインで参加しました。2022年はぜひ直接出展し、たくさんの方にお会いしてYOU&MEファミリーの活動を知っていただきたいです。

会員の皆様へ メールアドレス送信のお願い

YOU&MEファミリー事務局では、作業の効率化と郵送料等経費削減のため、今後は事務局からのご案内を、できるだけEメールで送信する方向性を考えております。

そこで会員の皆様に、受信可能なご自身のアドレスから、下記のYOU&MEファミリー事務局アドレス宛にメールを送信くださいますようお願い致します。

【宛先】 yam.family2007@gmail.com

【件名】 メールアドレス登録

【文面】 会員様ご芳名をご入力ください。ご連絡先等に変更があればお知らせください。メール配信では本誌「教育こそ、未来をつくる」もカラーでご覧いただけます。ご希望の方は「YOU&ME通信メール配信希望」とご記入ください。

*すでにアドレスをお知らせいただいている会員様も、確認のためメール送信をお願い致します。

*印刷物郵送をご希望の方は、今まで通りの方法で郵送いたします。

*頂いた情報は本目的以外には使用せず、個人情報等は遵守いたします。

FROM YOU & ME FAMILY

YOU & MEファミリーの集い



2021年11月23日、「第10回YOU&MEファミリーの集い」がZOOMオンラインにて開催されました。この集いは、現地報告、国内活動報告をすると共に、ファミリー会員の交流の場でもあります。

今回の交流の時間で、学生会員の木村ダウダー真（かずま）君から発表をしていただきました。一真君は、日頃から近所のゴミ拾いや駅前に立って世界の記念日を知らせるボランティアを行っていますが、このほど SDGs基本理念「誰ひとり取り残さない」小論文コンテストで入賞され、今回のYOU&MEファミリーの集いで、その入選作文を発表してくださいました。中学生の一真君から、大人も学ぶことが多い発表でした。その入賞作品の作文を紹介します。

私たちの夢 ~ WE HAVE A DREAMS

木村ダウダー真 聖学院中学1年

僕は見た目からいじめられることがあった。なぜなら黒いからだ。みんなとは肌の色が違うということと言われて初めて気がついた。一度も疑問に思ったことがなかった。人よりも日焼けしているだけだと思っていたからだ。僕はそのことをだれにも伝えることができず、毎日苦しかった。

そのころ父の生まれ育った西アフリカにあるギニア共和国に行った。日本で育った僕はギニアに着いたときタイムスリップをしたように感じた。なぜなら電気や水がない生活や土でできた家がたくさんあったからだ。朝から働きながら、兄弟の世話をしていた。子どもたちは家族を助けるために遠く離れた場所まで水を汲みに行かなくてはならない。靴も履いていない、洋服も汚れていて破けていた。僕はその時何かしたいと心では思ったがどうすれば助けることができるかわからなかった。

ギニアにいた2か月間みんなと一緒にサッカーをして遊んだり、ご飯を食べたり、テレビを見たり、日本では何気ない日々がギニアに来て特別な日になっていた。僕はみんなの笑顔が嬉しかった。言葉は通じなくても心は通じているとわかったからだ。

日本に戻って僕はギニアの人たちが毎日大変な生活をしているのに負けてはいられないと思った。そして2017年SDGsを知り僕にも何かできることがあると知った。地域のごみ拾いやボランティア活動に参加するようになった。出会い、つながり、未来へWE AER PARTNERS!をモットーに地域の中で学んで伝えるボランティアだ。僕たちは、たくさんの人にSDGsを楽しく身近に感じてほしいと活動している。自分の経験から人権や差別について考えるようになった。誰一人取り残さないとは、誰もが夢をもてること、誰もが自由に発言できること、誰もが助ける助けられる立場であることだと僕は思う。

I HAVE A DREAMとキング牧師が言ってから75年がたった今、キング牧師の夢はかなったのだろうか？命のビザ発行から80が過ぎた。自分の立場や自分の危険を覚悟しながら、たくさんの人を助けることだけではなく、その人たちの未来も変えることができた杉原千畝さん。今があるのは過去にたくさん問題を解決してきた人たちが未来のために頑張ってきたからだ。今の世界はどうだろう？人種差別や地球温暖化など数えきれない、たくさん問題がある。肌の色で白人、黒人と区別するのはおかしいと思う。お金のためなら何でもして良いのだろうか？小さな虫や動物も同じで地球に住む大切な仲間である。肌の色や国、性別や年齢など関係なく地球市民として暮らしていける未来を作っていきたい。僕はギニアに行ってから考えが変わった。人と違うことは、いけないことではなく個性だということ。人との違いを見つけるのではなく人の良いところを見つめることができればきっと仲良くなれると思う。そして、もっとたくさんの人にギニアの良いところを知ってもらいたいと思う。SDGsは人と人の未来をつなぐギアになっていて、みんなで力を合わせることで前に進んでいける。そしてたくさんの人と一緒に動かすことで大きな力になりゴールまで進むことができる。SNSが普及して誰もが自由に発言ができ、つながることができる時代になった。一人の意見、思いに共感し解決できる問題もある。だが指ひとつで相手を攻撃することもできる時代

僕たちは今何ができるのか 誰もがオンリーワンでナンバーワンの世界に WE HAVE A DREAMS



令和4年度年次総会が終わりました

2021年3月13日、YOU&MEファミリー総会が開催されました。今年度は正会員（理事、監事、社員）が以下の担当業務を担っています。どうぞよろしくお願いいたします。

役職	代表理事	玉木	副代表理事	有泉
	理事	堀江	監査	土佐
	事務局長	石崎	理事会	玉木、有泉、堀江、石崎
	社員	宮森、白井瑛、白井みどり、高橋、三田村、飯田、村田、小松崎、崔、秋永、三苫、大賀、大野、小田、古谷、石崎、山口		
現地関係	現地対応	玉木、石崎、山口	現地送金	玉木、石崎
	スタディーツアー	玉木、石崎		
対外関係	助成金	玉木、石崎、山口	埼玉 NGO ネットワーク	玉木、石崎
業務	会計	税理士、土佐	交通費	各行事担当者
	事務作業	有泉	会員名簿管理	小田、古谷
	書記	有泉	宛名ラベル	堀江
	Y&M 集い葉書	堀江	寄付会費御礼葉書	三苫
	Y&M 通信	星合	写真パソコン関係	堀江、白井瑛
	Y&M 通信メール配信	小田	ホームページ	チェ、星合
	掲示物	三田村	インスタグラム	白井み、チェ、有泉、小田
各行事	Y&M ファミリーの集い	有泉、飯田	活動報告会	堀江
	チャリティーイベント	宮森、玉木	グローバルフェスタ	堀江、
グッズ	グッズ作成	大野、白井み、星合	ケーキ	秋永、大野
	コーヒー	古谷		
その他	ファンドレイジング	村田、小松崎		

今年度新たに事務局長に石崎博己さん、現地対応と助成金担当に山口祐佳さんが就任しました。お二人よりコメントをいただきました。



事務局長 石崎博己さん

はじめまして、2022年度より事務局長を拝命致しました石崎と申します。昨年8月より、縁あってYOU&MEファミリーにて色々お手伝いをさせて頂く事になり、今年度より幅広く運営に関わらせて頂く事になりました。どうぞ宜しくお願い致します。

ここで少し自己紹介とこれまでの経緯をお伝えしますと、今年で50歳、地元は東京都足立区で中学校に入学した際、担任教諭が当時初々しい新任教師であった玉木先生でした！また全くの偶然ですがその後進学した大学でも玉木先生の後輩となります。

昨年夏に別件で地元をネット検索していた所、出身中学の情報から玉木先生とYOU&MEファミリーへと繋がり「あの玉木先生が素晴らしい活動をされているな」「自分も何か協力できないか？」と考え一般会員の申し込みをさせて頂いた事が、実に約36年ぶりに玉木先生にご連絡させて頂き、YOU&MEに関わるきっかけとなりました。仕事は大学卒業以来、石油業界で勤めております。

YOU&MEファミリーの皆さまは医療、教育関係の方が多いと思いますが、また少し違った角度から団体運営をサポートできるかなと思いますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



ルバイヤット・ホセイン監督の映画『メイド・イン・バングラデシュ』が2022年日本でも公開されます。世界の繊維産業を支えるバングラデシュの縫製工場労働者の80%が女性で平均年齢は25歳。その過酷な労働環境と低賃金に、たったひとりで立ち向かう女性の実話が基になっています。バングラデシュの今が観られる映画です。http://pan-dora.co.jp/bangladesh/



現地対応・助成金担当 山口祐佳さん

Y&Mファミリーの皆様こんにちは。今年度より現地対応・助成金担当の山口と申します。私は青年海外協隊としてバングラデシュという国に出会いました。バングラデシュの田舎町で外国人女性が一人で生活をするということは、周りのベンガル人の助けがなければ充実した生活はできなかったことでしょう。市場での買い物やご飯の美味しいお店探しも、女子が集まればファッションの話をして生地を選んで服を作ってもらい、楽しい日々を過ごすことができました。帰国後も、バングラデシュという国を良い所も悪い所も含めてもっと知ってみたいと夢中になりました。私は「人の出会いに恵まれている」と思っています。バングラデシュという国で出会った人々がいたからこそ、Y&M玉木さん達との出会いがありました。実は約10年前からY&Mの活動は知っていたものの一歩踏み出す勇気が出ず、世界中の人々が未来に不安になる日々が続く中で「今、自分ができることをやるとしたら」、と考えた時いつも一生懸命にY&Mの活動をされている玉木さんを思い出しました。このような時代だからこそ一生懸命な人を応援して、自分なりの貢献出来たらと思っています。これからY&Mファミリーとして新たな出会いを楽しんでいます。皆様、よろしく願いいたします。



ご寄付への協力、YOU&MEファミリー会員へのご参加、ありがとうございます



<ご支援いただいた方々>

2021年7月1日-12月31日(敬省略)

【一般寄付】<個人寄付> フィリップ・ダンカン 澁谷勇一 大塚哲雄 久保和男 大矢洋子 野村誠 松田正之 日下倫子 大島明人 荒木佳代子 石田智太郎 さかもとももこ 藤崎光子 伊藤千賀子 <月定寄付> 黒田英雄 大西信一 近藤暁彦 <団体寄付> 兼愛国際特許事務所 横浜教会渡辺滋基金 横浜戸塚バプテスト教会 <未使用ハガキ>別所由美子 <助成金> 独立行政法人国際協力機構(JICA) ゆうちょ財団 庭野平和財団 <切手寄付>柴田等(書損じハガキ交換)

YOU&MEファミリー 川本英子(菜穂子) 田中一郎 別所由美子 石田洋子 玉木聖一 有泉香里 飯田久美 村田千年 宮川明子 山下真由美 齋藤祐一郎 齋藤しおり 竹内涼子 日下倫子 今瀬幸枝 新井明子 春山咲紀 岸上剛士 岸上三重 三田村恵子 原淳子 土佐いく子 菅原由美 浦野さやか 北村幸郎 佐々木信幸 須田真紀子 安芸文子 堀川朋子 伊藤昌子 玉木由美 小川麻満 フィリップ・ダンカン 望月操 志田春一 松岡みどり 三苫よし子 岩浦有之 福田サト 吉川葵 森田時枝 宮森ひろみ 藤崎光子 高橋博子 堀江康夫 木村葉子 福島麻優 水野範子 高橋順子 高須信克 秋永佳子 さかもとももこ 古谷留美子 増島タイ子 大野彩女 芦沢治子 山口和代 市川晴巳 深澤ひろむ 小寺隆 浅野勲 三浦鉄子 村上祐子 アミールホセイン SYLVIA BORG 宮梓 仁木俊二 石賀菜美子 中村晴佳 齋藤恭子 木村光彦 土佐朝一 小松崎悟郎 池田睦子 風早恵美 残間れい 園田みつる 渡辺ナミル 古井翔悟 高月弘美 数納幸子 鈴木恵美子 大川照志 浅川咲子 中島千鶴子 白井瑛 崔鶴洙 柴田等 石澤早美 松田千代子 原田茂子 千賀隆子 市川裕美 近藤暁彦 野村和恵 玉木恵人 久木田ちあき 石谷洋子 高林敏彦 瀬戸洵子 花巻昌子 白井みどり 小田百合子 山中みずえ 渡辺ルミナ 大西信一 鹿島彩子 森原伸之 石崎博己 三塚善行 三塚恵美子 <フォスターペアレント> 川本素行(早希子) 上野まき子 古井恵美 内藤均 若松香織 有泉香里 久木田ちあき 湧上靖 山崎真一郎 清水文子 渡辺裕子 武笠いく子 菅原由美 石田智太郎 中川尚子 GUILLAUME CAVANAGH 宮本道子 橋野坦 白井徹 小田佳世子 宮川明子 石川春子 白井彩咲美 大山恵子 <法人会員>品質学センター株式会社 <学生会員>大野香澄 トラオレ・ダウダ・一真 <新規YOU&MEファミリー会員>山口祐佳、鎌田潤子、荒木佳代子 <新規学生会員>白井麗咲記

THANKYOU



編集後記

バングラデシュにYOU&ME INTERNATIONAL SCHOOLができて、今年で15年になります。このYOU&ME通信「教育こそが、未来をつくる」を編集しながら、この間にたくさんの子どもたちが希望を持って学校に通えたこと、会員の皆さまはじめ、さまざまな支援を受けながら、学校の設備やカリキュラムを充実させてきていることを改めて感じ、微力ながらファミリーの活動に関わってきてよかったあと、うるっとしてしまいました。さて、今年もどんな新しいニュースをお届けできるか、とても楽しみです!(星合)

YOU & ME 通信「教育こそが、未来をつくる」第29号

発行者: NPO法人YOU&MEファミリー
(事務局) 〒340-0043 埼玉県草加市草加1-3-4

TEL: 048-943-4343

eメール: yam.family2007@gmail.com

(学校住所) Shirirchala, Bagher Bazar,
Gazipur, Bangladesh



HTTP://YOUANDMEBANGLADESH.ORG/